

夢広がる なかしべつ

中標津町農業協同組合

2

2011
Vol.434



女性部新年恒例会 (2011.1.20)

INDEX/目次

女性部 新年恒例会~3

青年部幹部研修~5

平成23年 営農計画総集計表~7

夢広がるクロスワード・読者の声、クイズの解答~9

中標津乳牛改良同志会定期総会...10

普及の窓~寒いから大丈夫じゃなくて
牛舎の換気に注目しよう!...11

特集 中標津牛乳200mlパッケージデザイン決定!!~13

夢広がる掲示板~15

JA中標津

検索



ケータイ用
QRコードは
こちら!!



シンボルマーク「笑味ちゃん」が
「よい食」を全国に広めています。

詳しくはホームページで

よい食

検索





農協女性部

2011年



女性部新年恒例会

参加者全員の 笑顔輝く全体行事

女性部の新年恒例会が1月20日、JA大会議室をメイン会場に行われ、部員約60名が笑顔で新年最初の顔合わせとなる全体行事を楽しみ、明日への活力を養いました。

開会に先立ち、金子ひろみ部長は昨年の農業を取り巻く情勢にふれ、予定していた活動がままならなかったことを強調。また、自身の体験を踏まえ、お正月のおせち料理を作ることにし、お母さんが長年作ってくれていて、その味を舌で感じ、作っている姿を何度も横で見ているからこそ作ることができたし、お母さんにいい味だといわれたことで金子家の伝統の味をつなぐことができたのかなと嬉しさひとしおだったこと、この体験のように自分で特別教えてもらわなくても自ら技術を見て、味わって覚えていかなくてもあると話されました。

今年の来賓は、高橋組合長を始め、普及センターの西海支所長、産休から復帰した大畑普及員、乾参事、あるるの宮田店長。組合長は「同席した乾参事が定年となり、理事の改選といった、変化の平成23年度となる」ことにふれ、その中でも職員は「一丸となり組合員のために出来ることを追求していくので、同席した宮田店長のあるるを始めとした農協事業を組合員の皆さまも活用いただき、協同の取り組みを強めていきたいと思います」。

西海支所長による牛乳での乾杯により、会がスタート。オーハシあるる店、店

長のご好意によって驚きの価格で提供いただいた超豪華弁当（写真下）を食べながら、語らいの時間が進みました。

途中、追加で各人にスイーツが配られ、笑顔が120%増し

になり、ホクレンから米粉を使ったパンの試食やミルメイクなどAコープマーク商品の紹介を含めた試食品が届けられ、ジョイライフのPRについての説明がありました。

お腹も満たされ、仲間との会話が弾むなか、お昼からの恒例ひとつはショッピングのショッピング出店者からのPRタイム。そして、会場を役員会議室に移してのひとつはショッピングでは、地域女性みんなで作った商品や、個人的にコトコト作りためた、女性部自体の出店品目どころ狭しと並べられ、食べ物、手芸品、実用品の数々を品定めしながら、作り方などを作家に聞きながら次々と購入されて、即完売店舗が続出しました。

午後からも休むことなく、アトラクションに移り、イスに仕掛けられた当りくじの当選者を絵師に各テーブル全員によるお絵かきあてゲームが行われました。お題を見て「えー難しい」と叫ぶ絵師と何を書こうとしているかを当てるチーム卓の面々。次々に当てていくチームもあり、逆に珍回答ばかりが目立つチームがあり、目が離せない競技となりました。





作品展示の数々です



カゴ



デコクレイ作り



ティッシュボックスはリパーシブルです



クリスマス飾り



初乳を活用した石けん



ひな人形



とっても大きなパッチワーク



コサージュ



春にJC青年と交流しました



像のウンチと古紙で出来た手作りペーパーのぞうさんペーパー

お母さんはだ〜れ??



白熱しすぎて、用意していたアトラクションを一つ削ったの全員参加によるビンゴ大会では同席した子供にも当選の権利を付け、一緒に楽しみました。お米やしょう油といった、お母さんのお財布を助ける実用品の数々をみんなでゲット。
高橋組合長からのお年玉争奪大ジャンケン大会を制したのは、なんと2年連続、松本重子さんで、日本ハムファイターズの佑ちゃんじゃないけど「なんかもってる」感を漂わせていました。
女性部員が集まる取り組みのパワー。農協女性として農協を盛り立て、地域を活性化させる輝く笑顔を今年も様々な場所で咲かせて欲しいですね。





幹部研修報告

この国の食糧安全保障を 農業者とみんなので 確立しましょうよ



研修1日目 (1月31日)

午前8時50分、中標津空港に各単組の参加盟友が集合。新千歳空港経由で東京に向かう。この日のメインは農林水産省の方たちとの意見交換会でした。日本農業の中枢に足を踏み込み、酪農業を担当する職員の方たちに現場の現状、意見、要望を伝える事に今回初参加の盟友たちも緊張の面持ちでしたが、午後3時30分の意見交換会が始まると皆臆することなく担当職員に酪農の現場の厳しい状況、それを補うべく支援と補助、対策の要望を伝えました。農林水産省の担当職員の口からは我々が満足する返答は無く、「先の見通しがつかず、答えるのは難しい」と云った返答が多く聴かれました。我々にとって最重要課題とも

言えるTPP交渉に関する質問にも、「まだ情報収集の段階で…」と明言はありませんでした。宮崎県で起きた鳥インフルエンザの対応にも追われているらしく、質問に答えるに退室したり、また戻ってきたりする担当職員がいたり農林水産省の中は多忙な様子でした。多忙なことは我々酪農家も同じこと。今後、配合飼料や燃油等の生産資材の高騰は避けられない状況にきている。日本農業の保護のために農林水産省に頑張ってもらいたいと思います。

意見交換会を時間いっぱい終了し、その後は霞ヶ関にある和風居酒屋『初つぼみ』で農林水産省の方たちと懇親会。この席には昨年10月に『農水・全中受入』で櫻井牧場に体験実習に来た田中哲弥さんも参加し、近況報告や実習期間中の思い出話などで楽しい再会のひとときを楽しみました。

研修2日目 (2月1日)

この日の研修は広範囲に渡り、普段革靴で歩き慣れてない盟友たちに

平成23年1月31日から2月2日の日程でJA根室地区青年部連絡協議会の幹部研修が行われました。研修内容は農林水産省の方たちとの意見交換会、地元選出の国会議員の方たちへの表敬訪問、農業分野に新たに参入した人材派遣会社の視察研修、そして雪印乳業(株)横浜チーズ工場の視察研修でした。今年度の幹部研修は当初の予定には無かったサプライズな見学会が現地で開催されたりと、過密スケジュールで大変移動が慌しかったですが、内容の濃い充実した3日間の研修でした。当農協青年部からは中本信幸・根室地区青協副会長、林直樹部長、私、櫻井寿治(監事)が参加いたしました。

はハードな1日となりました。

午前9時00分から新橋駅から地下鉄で浅草駅に移動。せっかく東京まで来たので現在建造中の東京スカイツリーを見学。その後徒歩で雷門の前まで移動。暫し記念撮影に興じた後、本日のメインの1つである『(株)パソナ』に向かう。日本橋駅から徒歩数分で沢山のビルが建ち並ぶ場所に『(株)パソナ』がありました。パソ

ナのビルに入ると先ず驚いたことは、ビルの中に水田があり、稲穂が育つてることです。その他にもビル内には大根畑や、トマトやナスやレタス等が土壌なしの水耕栽培で栽培されてました。

『(株)パソナ』は人材派遣会社で農業分野の活性化のため、これから農業を担う新しい発想と知識を持った人材を確保・育成することで、農業分野における更なる雇用の創出を目指しているとのこと。



都会のビルの中で野菜が育てられるのは分かった。ただ日光が当たらないので色んな蛍光灯を大量に使って、水分・養分も自動ポンプで





送っているようだったので、施設の案内をしてくれた担当者の方に電気代は月いくらかかりますか? と質問したところ「分かりません」と答えられました。『株パソナ』での研修を終え次に衆議院第一議員会館へ仲野ひろ子議員を表敬訪問。当初、仲野議員の事務所の一室で仲野議員と昼食をご一緒し懇談するのかわかと思っておりましたが、国会議事堂内の食堂に招かれ、突然の「国会入り」を果たすことになりました。短い時間でしたが仲野議員は終始笑顔で我々の労をねぎらい、別れ際には記念撮影にも応じ、一人ひとり握手で見送ってくれました。

仲野ひろ子議員との昼食懇談の後、タクシーに乗り込み東京駅へ、ここから新幹線に乗って新横浜駅に着き、それから横浜線に乗り換え中山駅へ、この日の二つ目の視察先である『雪印乳業(株)横浜チーズ工場』を視察研修しました。横浜チーズ工場では中標津町と大樹町で生産された加工原料チーズ(ナチュラルチーズ)を使って『スライスチーズ』や

『とろけるチーズ』といったプロセスチーズを製造しています。なので中標津酪農と横浜チーズ工場は密接な関係と言えます。初めに工場内の研修室のような広い部屋に入り、まずは30分ほどのナチュラルチーズからプロセスチーズが出来るまでのビデオ上映を見てから製造ラインを通路から窓越し見学しました。『6Pチーズ』や『スライスチーズ』、『雪印粉チーズ』等が次々に製造されるところを見学しました。製造ラインを見学し再びビデオ上映を

した研修室に戻ると、試食用のチーズがテーブルの上にずらりと並べられておりました。



熟成度合いが違う2つのチーズを食べ比べしていたら、次に某ハンバーガーショップのチーズバーガーが4等分にカットされて出て来た。次に某宅配ピザのピザが届き、次に某お弁当チェーン店から新発売された『クリームシチューカツ丼』が登場し、その他に某コンビニ店で販売されているチーズグラタンやハンバーグの上にスライスチーズが載せてあるミートソーススパゲティーが運ば

れて来て、全て北海道チーズを使った商品の大試食会になりました。これだけのチーズがあるのだから我々酪農家はこれからも高品質の生乳生産を目指し、安心・安全をモットーに搾乳作業に取り組まねばならないと思いました。

研修3日目 (2月26日)

この日は研修最終日。当初の予定では地元選出の国会議員を表敬訪問して終了するはずでしたが、思わぬかたちで『国会見学』に変わりました。先ず最初に訪問したのが参議院議員・長谷川岳議員。長谷川議員は以前から北海道の農村青年に会って懇談したいと願っていたらしく、大喜びで我々を歓迎してくださいました。



次に衆議院第一議員会館に移動し『新党大地』の浅野貴博議員を表敬訪問。我々と同じく酪農家の息子であり、我々酪農家が抱える悩みを親身になって汲み取ってもらえるこ

とを期待したいと思いましたが。そして最後に伊東良孝議員を表敬訪問致しました。伊東議員の計らいで我々は急遽、国会議事堂内で行われている予算委員会の傍聴席に座らせて頂けることになりました。秘書の繁本護さんの案内で国会議事堂内へ。携帯電話は電源を切ってロッカーに保管され、飛行機に乗る時みたいに金属探知機であろうゲートを潜り、いざ傍聴席へ。傍聴席に座れた時間は5分くらいだったか、短い時間でしたがテレビで見ると国会中継を生で上から見渡せた事に貴重な体験が出来て良かったと思えました。その後は一般の国会見学コースを皆で見歩きました。



例えば幹部研修の3日間、国会議事堂を見ない日はなかった。研修初日の農林水産省との意見交換会後、夕闇に浮かぶ国会議事堂を見たとき、まさか中に入れるなんて夢にも思わなかったもので、今回の幹部研修は驚きでした。

平成23年

営農計画総集計表

単位：千円

収		入				平成22年実績 231戸	平成23年計画 225戸
	22年計画	22年実績	23年計画	実績との差			
生乳	9,621,178	9,234,827	9,423,699	188,872	乳量(t)	123,538.70	127,538.70
補給金	601,777	608,896	599,354	-9,542	大根	100.4 ha	111.8 ha
小計	10,222,955	9,843,723	10,023,053	179,330	収量(C/S)	433,775C/S	473,922C/S
乳用牛	778,207	830,492	766,050	-64,442	ブロッコリ	45.8 ha	44.3 ha
肉用牛	370,478	462,284	405,976	-56,308	収量(C/S)	38,704C/S	53,800C/S
その他畜産物	8,700	9,756	9,400	-356	てん菜	146.41 ha	131.5 ha
個体販売計	1,157,385	1,302,532	1,181,426	-121,106	収量(t)	5,154.60	6,588.00
家畜共済金	258,641	456,780	266,318	-190,462	馬鈴薯種子	123.65 ha	102.5 ha
畜産物計	11,638,981	11,603,035	11,470,797	-132,238	食用	74.03 ha	83.6 ha
馬鈴薯	308,343	259,102	289,652	30,550	澁原	255.84 ha	218.5 ha
てん菜	83,008	73,277	73,034	-243	収量(袋)	72,146	136,160
その他農産物	67,152	102,381	88,747	-13,634	加工	8.08 ha	16.1 ha
大根	130,481	162,143	146,374	-15,769	乳用牛(頭)	3,476	3,241
ブロッコリー	53,962	51,276	44,799	-6,477	肉用牛(頭)	7,190	6,076
畑作共済金	0	10,091	0	-10,091	乳牛総頭数	27,753	27,746
農産収入計	642,946	658,270	642,606	-15,664	12ヶ月以下	5,410	5,505
農業雑収入	946,330	1,166,297	963,531	-202,766	13～24ヶ月	5,559	5,654
農業収入計	13,228,257	13,427,602	13,076,934	-350,668	25ヶ月以上	16,784	16,587
農外収入	48,127	107,866	45,867	-61,999	総所有地 ha	15,288.90	14,918.50
資金借入	47,493	26,668	8,640	-18,028	改良草地 ha	8,754.90	8,594.40
資金受入	548,084	1,058,439	548,889	-509,550	永年草地 ha	3,447.70	3,376.80
合計	13,871,961	14,620,575	13,680,330	-940,245	コーン畑 ha	0.00	97.00
					畑地 ha	1,133.10	1,011.60
					山林原野他 ha	1,953.20	1,838.70

	22年計画	22年実績	23年計画	一戸平均実績	一戸平均計画
農業収入	13,228,257	13,427,602	13,076,934	58,128	58,120
農業経営費	9,538,144	9,946,519	9,461,215	43,059	42,050
農業所得	3,690,113	3,481,083	3,615,719	15,070	16,070
所得率	27.9%	25.9%	27.6%		



平成23年

営農計画総集計表

単位：千円

2月2日に開催された理事会において組合員皆様方の平成23年度営農計画書の認定作業が行われました。

昨年実績では平成21年の低温、多雨に引き続き、昨年については猛暑となり、その影響により、昨年の生乳生産量、畑作物の生産量とも伸び悩んだ年となりました。乳価が下がったこともあり、昨年末のクミカン全体の収支残高では平成21年よりも1億3,300万円の悪化となりました。

平成23年の営農計画の総体の数字は表の通りとなっています。計画乳量では前年実績対比103%程度の増産計画となっていますが、昨年の暑さによる受胎率の低下が生乳生産にも影響を及ぼすものとの心配もあります。牛の健康を維持した上で、生乳生産量の増産をしていただきたいと思っております。畑作（でん原馬鈴薯とビート）については、本年からは個別所得補償制度による精算に変更されますが、生産実績（量・質）が高ければ今までの経営所得安定対策よりも収入は増えることが見込まれます。今年の天候がどうなるかが非常に気になるころではありますが、引き続き良質な畑作物を生産する意欲を持っての営農に励んでいただきたいと思います。

異常なことが頻繁に起きてしまう昨今ではありますが、家族がひとつになって、所得の確保に向けて、営農計画書を基本とした営農に取り組んでいただきたいと思います。

	支		出		実績との差
	22年計画	22年実績	23年計画		
賃	223,265	215,627	222,662	7,035	
肥料	672,228	651,418	573,154	-78,264	
生産資材	456,567	498,360	425,227	-73,133	
水道光熱	510,418	521,415	505,329	-16,086	
飼料	4,011,785	3,980,328	4,136,295	155,967	
養畜費	668,972	713,087	662,580	-50,507	
素畜費	41,364	67,409	57,984	-9,425	
農業共済	474,397	477,654	469,720	-7,934	
賃料料金	1,064,491	1,163,417	1,036,804	-126,613	
修理費	353,872	532,351	348,646	-183,705	
諸税諸負担	708,359	743,770	694,572	-49,198	
支払利息	185,850	173,301	166,915	-6,386	
その他経営費	166,576	208,382	161,327	-47,055	
農業支出計	9,538,144	9,946,519	9,461,215	-485,304	
家計費	2,117,890	2,357,361	2,138,553	-218,808	
経費+家計費	11,656,034	12,303,880	11,599,768	-704,112	
資金返済	1,007,362	981,557	929,519	-52,038	
貯金共済	1,075,451	1,080,193	1,051,595	-28,598	
農業機械	67,659	186,360	40,384	-145,976	
その他	119,482	222,585	118,081	-104,504	
合計	13,925,988	14,774,575	13,739,347	-1,035,228	

	22年計画	22年実績	23年計画
総収入合計	13,871,961	14,620,575	13,680,330
総支出合計	13,925,988	14,774,575	13,739,347
収支過不足	-54,027	-154,000	-59,017

Crossword Puzzle

出題/ニコリ 夢広がる クロスワード

二重マスの文字をA~Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

1		7	11			20
		8			18	
2	5		12	15		B
		6	9	16		
3			13		19	21
4			14	17		
		10				

タテのカギ

- 1日1個で医者いらず、ともいわれる赤い果物
- ③追い詰められると悪臭を放って逃げる動物
- ⑤水田にもいるエビの仲間
- ⑦甘いか苦いかが分かります
- ⑨暗記すると掛け算をするときに便利
- ⑪婚約や結婚のときに交換します
- ⑬理科の分野の一つ アインシュタインは——学者
- ⑮借りたお金を返すときに上乗せして払うもの
- ⑰回るものの中心にあるもの
- ⑲応援するように吹いてくれるもの
- ⑳遠くの親類より近くの——
- ㉑温泉地で、湯の花として売られることもある物質

ヨコのカギ

- ①暦の上ではこの日から春 節分の翌日です
- ②イ草で編んだヘリつきの敷物
- ③医師を目指して——で勉強しています
- ④山と山の間 景気にも人生にもあります
- ⑥地球表面の約7割は海、——は3割くらいです
- ⑧和服のときに足に履くもの
- ⑩裁縫を休み、折れた針を豆腐やこんにやくに刺して社に奉納
- ⑫契約のとき、2枚の書類をずらして一つの印章を押すこと
- ⑭道がぶつかるところ 十字路
- ⑯歯の治療をする——医院
- ⑰豆まきで追い出しましょう
- ⑱所得—— 住民—— 消費——

読者の声

■今月のお題■
T P Pに対しての意見！
をテーマに色々なコメントを
お待ちしております。

平成23年夏の天気は!?

●明けましておめでと〜うございませう。
平成23年度も始まりました。昨年は暖かいより、暑い日と寒い日が入りまじって大変でした。今年の夏はどうでしょうか。T P Pは私共の生産者にとって、牛乳を始め、生活の中でいろいろなものが含まれているので、農産物の自由化となれば本当に大変です。皆さんで力を合わせて、困難な問題を一つずつ解決して行くしかないのでしょうか。今年も雪が多くなりそうです。どうかこの一年、皆健康で過ごせたらよいと思います。
▼P N / りんごちゃんさん

来ました来ました。

●明けましておめでと〜うございませう。
おだやかな新年でこのまま過ごさず、寒い冬なのかと思ったり…やはり、きましたネこの寒さ。心配な事もたくさんあるけど、良い年になりますようにと、祈るばかりです。
▼P N / 弾正原真由美さん
①寒さが厳しさを増してきました。車のエンジンがかからなくなつて徒歩で出勤したり、風呂場が凍り付いて焚けなくなつたりと気の抜けない毎日を送っております。

町の除雪作業のある民間委託会社の幹部は雪が降ってくる、「あー、お金が降ってきた」と、除雪出動の準備にとりかかるとか。今冬は出番が少ないですけど、春までこのままでは終わらないんだらうな。

今の年賀状って色々あるんですね

●新年明けましておめでと〜うございませう。今年も宜しくお願ひ致します。干支にあやかり『飛躍の年』に！低温の春から一転、猛暑と、湿害を与えた昨年が終わり、11年は『うさぎ年』。はねるゝそんな一年になつてほしいですね…。
追伸 昨年は、私の母が亡くなり、年賀状のない、さびしいお正月でした…。今年こそ〜夢広がってほしいです…。
▼P N / 北風さん
②年賀状が来ないのは寂しいと言えぬのはまだまだ元気な証拠。ある情報誌で年賀状をそろそろ失礼したいとの礼儀が載っていました。『私(私たち)もそろそろ高齢で筆の運びもままならないので、お年賀は来年から失礼させていただきます』と書き添えるというもの。何事もやめる時

の知らせ方が難しいのです。

2月は「逃げる」だから早めの計画行動で！

●毎年の今頃ならば、ホッカイロは必需品なのに、暖冬で助かっています。お正月は2歳の孫、2人が泊まって行きました。中標津空港から帰る時、とっても大きな声でバイバァーイと言って帰りました。孫を見せに来てくれてありがとう。師走から大変忙しくやっとな普通の生活に戻りつつあります。家族一同健康な一年を送りたいです。
▼P N / 三代目の嫁さん
③生産現場での心配事として伝染病が挙げられます。先日宮崎県の農政職員に電話をかけたら、ちょうど鳥インフルエンザが発生して間もなく、対応にたんやわんやしていました。人も家畜も健康で、生産現場に安息が戻るようにご祈念申し上げます。

問題

私たちの身近にある野菜。知っているようで知らないことが、実は意外に多いものです。クイズ形式で楽しみながら勉強することにしませう。野菜が今まで以上に身近で味わい深いものになりますよ。

1 私たちは、ブロッコリーの主にどの部分を食べているでしょう？



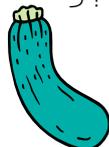
- A 葉
- B 茎
- C 蕾
- D 種

2 トウモロコシのひげの数はどのくらいあるでしょう？



- A 実の数の3分の1
- B 実の数の半分
- C 実の数と同じ
- D 実の数の2倍

3 ズッキーニと同じ仲間の野菜はどれでしょう？



- A キュウリ
- B カボチャ
- C ヘチマ
- D ナス

4 この中に1つだけ仲間外れがあります。どの野菜でしょう？



- A ヤーコン
- B レタス
- C ニンジン
- D ゴボウ

第1題 どこまで知ってる？
野菜クイズ

答え 第1題-1 C 蕾
ブロッコリーやカリフラワーは、植物として花を咲かせる前の花蕾（からい）の状態を食べています。茎も食べられますので、蕾とはまた違う食感を楽しんでください。

第1題-2 C 実の数と同じ
トウモロコシのひげのように見える部分は、雌しべの先です。花粉が付き受精すると、雌しべの下部が肥大し実となるため、ひげの数と実の数は、同じとなります。

第1題-3 B カボチャ
形はキュウリに似ていますが、カボチャの仲間（ウリ科カボチャ属）です。カボチャは主に、熟してからいただきますが、ズッキーニは、未熟果を食べます。

第1題-4 C ニンジン
ニンジン（セリ科）は、そのほかはキク科の野菜です。キク科は、小さな花がたくさん集まり、それが1個の花に見えることが1つの特徴です。

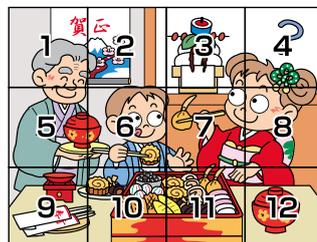
夢 広がる
Quiz
解答

イラスト 吉田静佳



第2題
間違い探し

問題 右のイラストには左のイラストと違う部分が何カ所かあります。間違っている部分を右の枠内の数字で探しましょう。



- 答え** 3 …ダイダイがこまに変わっている
4 …髪飾りの色が変わっている
6 …だて巻きをつまんでいる
9 …はし袋の形が違う
12 …おわんのふたがしてある
計5カ所



12月号クロスワードの解答
「ホシガキ」

12月号クロスワードの解答は「ホシガキ」でした。また、1月号の第1題は上記解答のようにCCBC。第2題の間違いは5カ所でした。全て正解した方は、藤原洋子さん（俣落地区）。1万円分のJA中標津商品券を贈呈いたします。

野菜クイズの第1題-4が難しかったようです。根菜と葉野菜でまどわされますよね。正解は上記解答の通りニンジンがセリ科、その他はキク科の科の違いをクイズにしたものでした。さて、正解者3人様に向けて用意していた商品券の残り2万円分を今回は正解者争奪で行いたいと思いますので、2月号のクロスワード解答と女性部新年恒例会ページのお母さんはどうれ??クイズの両方にお答え下さい。お母さん4人子供6人載っているの、1人のお母さんから子供2人に線が出ることもあります。本人や家族からの応募を含め、多くの方からの解答をお待ちしております。

第40回中標津乳牛改良同志会定期総会

中標津乳牛改良同志会 第40回定期総会



第40回中標津乳牛改良同志会定期総会が1月29日に中標津町農業協同組合大会議室にて開催されました。開催に先立ち、農協よりエクセレント獲得牛表彰（体型得点90点以上）と中標津乳牛改良同志会表彰が行われました。

■平成22年エクセレント獲得牛（農協表彰）

福村 稔氏
ハッピーイースト テンプ
トレス チャム ET号
90点



■平成22年度 高能力牛生産牧場表彰 （同志会表彰）

●平成22年年型乳量・乳脂量ベスト1

古澤 信義氏、竹下 耕介氏、福村 稔氏、久保 剛氏
長淵 直樹氏、安田 正嗣氏、横田 光彰氏

●平成22年生涯乳量9万kg以上

山田 昇氏、舟橋 信一氏、上村 孝和氏、横田 千秋氏
久保 剛氏、北村 智氏、佐々木宏之氏、横田 光彰氏

●平成21年牛群平均10,000kg以上

長淵 直樹氏、弾正原 正氏、岡部 達也氏

■優良体型牛生産牧場表彰

福村 稔氏
中川 将氏



本総会では議長に遠藤昭男氏（俣落支部）を選任し、平成22年度事業報告及び収支決算報告がなされて満場一致で可決されました。平成23年度事業計画案では、審査講習会の開催（4月17日）、第49回中標津ブラックアンドホワイトショウの開催（4月23日）、種雄牛のプレゼンテーション等を含む講習会を開催、乳牛に関する事業では府県視察の実施や購買関係者との親睦と交流を図りながら中標津ホルスタインをPRしていく方向であると報告され、会員からも活発な意見が出され満場一致で可決されました。また会則改定案で役員任期について協議され、以下の通り可決されました。

※役員任期2年（現行）↓3年（平成25年度より）

第40回中標津乳牛改良同志会定期総会



寒いから大丈夫じゃなくて 牛舎の換気に注目しよう!

図1の○で示したように、毎年3月中旬から4月上旬にかけて徐々に外気温が上昇してくると（図1）、日中の牛舎気温と外気温に差がなくなる時期があります。

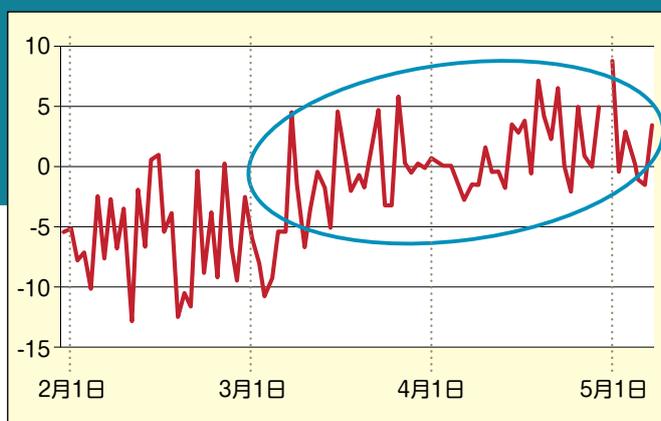


図1 最高気温の推移
(アメダス中春別地点H22.2.1~4.30 ※4.27欠測値)

厳寒期は結露対策でトンネル換気やカーテンを開けて換気を行う農場が多いのですが、この時期に、自然換気に頼る農場は注意が必要です。

自然換気は基本的に、牛舎内と外気温の気温差によって起こります（図2）。

寒い空気が牛舎に入り牛体から出る代謝熱などによって暖められ、上昇気流によって換気されます。

昼間の気温が上がってくると牛舎内の空気が動かず（＝換気不足）、餌や糞尿からのアンモニアが蒸散、牛舎内で滞留し、食い止まりが起こる（＝採食性が低下する）可能性があります。

これが原因で乾物摂取量が落ち、ケトosis、第四胃変位、免疫力低下による乳房炎などが起こる事例が見られます。

特に症状が出やすいのは、乾物摂取量が落ちやすい分娩前後の牛や初産牛です。

この寒い時期に「換気？」と思われるかもしれませんが、人間の嗅覚では分からないレベルでもこの現象は起こっており、実際に、昼間換気扇を回すと、改善される事例があります。

この時期、換気扇を回す目安は、自然換気が働かないとされる「牛舎内と外気温の温度差が10度を切る場合」です。

特に飼養管理上、思い当たるような大きな変化がなく、乳房炎やその他の病気が多発してくる場合には換気不良も疑ってみましょう。

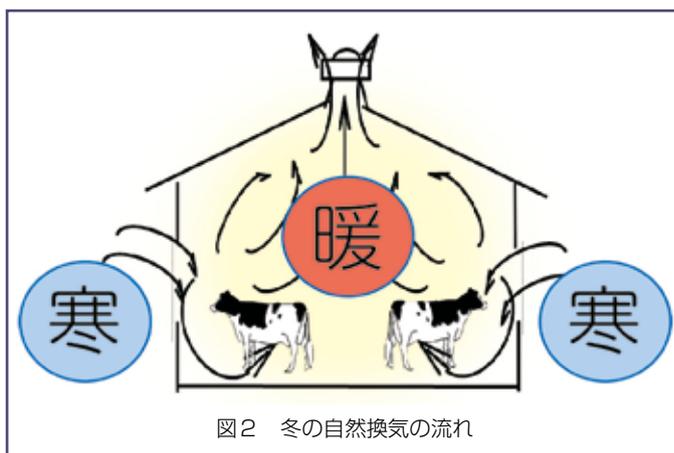


図2 冬の自然換気の流れ

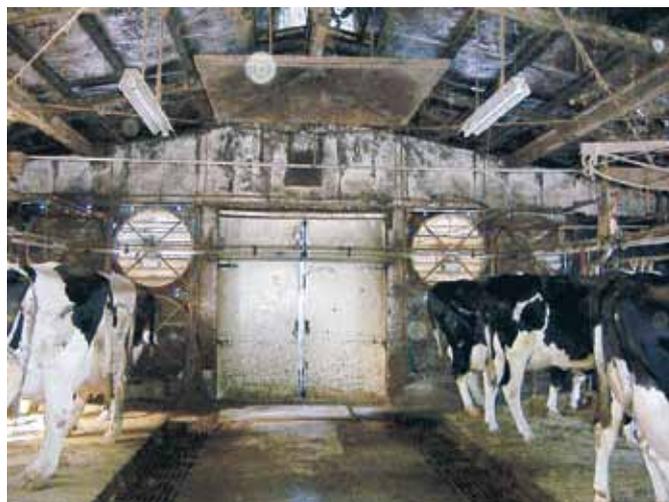


図3 トンネル換気による換気



副組合長賞 (優秀)
亀井 愛さん (養老牛小学校6年)



組合長賞 (最優秀)
小林 千夏さん (養老牛小学校5年)

中標津牛乳200mlパッケージデザイン採用決まる

養老牛小学校5年生小林千夏さん
町内小学生から620作品の応募

中標津町農協で募集した牛乳パッケージデザインの選考会が12月28日に行われ、応募作品620点の中から12作品が選考されました。

この募集は、中標津乳製品工場の増改築に伴い200mlパッケージの新充填機が導入されたことから、パッケージデザインも一新し、基幹産業である酪農の中標津牛乳が皆に親しまれ中標津町の顔となつてほしいとの思いから行われたもの。

募集は中標津町教育委員会や児童館を所管する子育て支援室などの協力を得、12月9日から24日まで行われ、中標津町内の小学校から620作品の応募がありました。

選考会議には高橋組合長を初め、役員、青年部・女性部部长12名が出席。第一次選考で農協大会議室に張り出された620作品の中から一人3作品、合計36作品を選考、2次選考で12作品を選考。最終審査で養老牛小学校5年生、小林千夏さんの作品を最優秀賞(組合長賞)に選考しました。会議では、「山をバックに緑の草原、草を食む牛が小学生らしく生き生きと、中標津のイメージが表現さ





参事賞 (優秀)
土井上晴菜さん(計根別小学校6年)



代表監事賞 (優秀)
渡辺 美夕さん(丸山小学校4年)



生産委員長賞 (優秀)
影山 颯さん(養老牛小学校4年)



営農委員長賞 (優秀)
松下 耀大さん(養老牛小学校1年)



生産部長賞 (佳作)
坂本 晃基さん(中標津小学校5年)



営農部長賞 (佳作)
山賀 瑠月さん(中標津小学校3年)



購買部長賞 (佳作)
波越 準己さん(中標津東小学校4年)



信用部長賞 (佳作)
中野帆乃香さん(中標津東小学校6年)



女性部長賞 (佳作)
千葉裕里香さん(計根別小学校5年)

見てください、農協大会議室の壁に所狭しと貼られた全作品。どれも子供が描いている作品とは思えないほどの出来栄でした。中には牛乳の効能や牛乳でどんな加工品が作られているのかということや学校で勉強した内容を図解してくれて応募してきた子もおり、牛乳パックにするよりそのまま新聞の意見広告や牛乳PRのポスターとかにできそうなものも多数ありました。学校現場での食育の浸透と各小学校の先生たちが子供たちに郷土を愛する心を教え伝えてくれているのだなあと感じられる、すばらしい作品がたくさん応募されました。

れている」との評価でした。入選した12名には冬休み明けの1月21日、商品券の副賞と乳製品セットが学校を通して本人に渡されています。また、応募した620名全員に参加賞としてミルクランドホッカイドウグッズを贈る事になっています。パッケージデザインに採用された小林さんの作品は現在パッケージ業者を通して校正作業中で3月末には新デザインの200mlパックとして店頭に並ぶ事となります。



青年部長賞 (佳作)
高田 香衣さん(中標津東小学校4年)





青年部の勉強会が1月21日に開かれました。春の事業決めの段階で、なるべく多くの勉強会を開くとした青年部の3回目の勉強会となりました。組勘の見方と青年部と題して、

青年部勉強会 組勘の見方を学ぶ

新着情報については、
公式HP <http://www.ja-nakashibetsu.or.jp>
に随時掲載中！
皆さまからの情報提供は、
72-3721
info@ja-nakashibetsu.or.jp

農協経営相談課に講師となつていただき、裏地係長、安斉係長、小田主任の3名を講師に2時間半に及ぶ勉強会となりました。

前段、裏地係長による組勘の見方では、報告書の見方とその活用法について、わかりやすく説明されました。後半は、3つの班に分かれてのディスカッション。安斉係長、小田主任の担当地区にその地区の部員が入り、裏地係長の担当地区部員と、講師3人以外の担当地区の部員も入りしました。様々な疑問や思いをそれぞれに語り、組勘を見たことがない、見せてもらえない部員も居るということや家族とのやり取りなど、普段、なかなかしにくい質問や疑問を伝えられ、青年部員からは事務所に来てもなかなか声をかけにくいとされる職員に気軽に話をしてもらえるステップになったかと思えます。

風邪の流行もあり、多くの参加にはなりませんでしたが、



とても有益な時間となりました。ご協力いただいた営農相談課職員の皆様にはまことにありがとうございます。

女性部 エコクラフト教室

11月22日、12月6日、JA事務所大会議室にて、女性部三層事業の手作り講座が行われ、部員28人が参加しました。

部員の篠永睦子さん（武佐地区）を中心に、数人の部員が講師となり、エコクラフト教室が行われました。作業を2日間に分けて、持ち手付きのカゴを作りました。

好みの色のクラフトテープを数種類の長さに切る作業からスタート。続いて、講師の指示のもと、クラフトテー



プを交差させながら、底の部分から順に編み上げていきます。持ち手部分は、お好みの色で模様が出来ると、ように編み、細く裂いたクラフトテープを使って、カゴの口部分を針と糸で縫うように最後の始末して出来上がりです。



紙で出来ているので軽量で頑丈なこのカゴ。エコバックとしても大活躍する大きさで大満足です。

2日間の作業を通して、部員間の交流はもとより、たくさんワクワク感を感じる時間となりました。

女性部青葉会 体操教室

12月14日、しるべつにて、



ゆつくりとした体操で楽しみながら汗をかくことができるとありました。

女性部青葉会事業の体操教室が行われ、部員7人が参加しました。幅広い世代を対象に町内外と広域でご活躍の町内在住の新田美枝子氏に、軽体操を教えてくださいました。体のしくみや体操の効果の説明と合わせて、家でテレビを見ながら出来る体操など、体に少ない負荷をかけながら動かす体操をいくつか教えていただきました。体の冷えや歩行困難などにつながる柔軟性の低下や筋肉の衰えは、日頃のちよつとした体操で回避することができるとありました。

第9回 理事会

開催月日 平成23年2月2日
開催場所 農協中会議室

決議事項

1. 役員推薦会議運営要領（別表）の一部改正について
2. 役員選任実施事項の決定について
3. 北海道農業信用基金協会への出資増口について
4. 上半期ディスクロージャーの作成について
5. 信用事業方法書の変更について
6. 与信取引に関する利用者への説明態勢に係る規則の一部改正について
7. 経理規程の一部改正について
8. 利益相反管理方針及び利益相反管理規程の一部改正について
9. 決算処理要領の制定について
10. 固定資産（発情発見装置）の処分について
11. 固定資産（農協有パイプラインミルカー、農協有バルククーラー）の処分について

報告事項

1. 新規就農者に対する信用限度の特例措置について
2. 運転資金（農業つなぎ資金）貸出要領の制定について
3. 品目横断サポート資金の貸付について
4. 理事に対する貸出金の承認について
5. 各種資金の借入について
6. 理事に対する平成23年度営農計画書供給認定について
7. 平成23年度営農計画書供給認定について
8. 平成23年度農場冷凍パンの導入について（固定資産取得）
9. 畜産販売課公用車のリース契約について
10. 組合員の出資持分譲渡について
11. 組合員の加入及び脱退の状況について
12. 平成22年度第2回（9月末）地区別懇談会の主な意見について
13. 平成22年度12月末信用・共済事業概況について
14. 平成22年度12月末購買事業概況について
15. 平成22年度12月末生活事業概況について
16. 平成22年度12月末酪農ヘルパー稼働状況について
17. 平成22年度12月末農業・農村交流施設稼働状況について
18. 平成22年度12月末家畜人工授精進捗状況について
19. 平成22年度生乳生産状況と乳質について
20. 今後の北海道酪農生産体制強化対策等の推進について
21. 平成23年度酪農畜産価格対策運動について
22. 汚染乳賠償責任保険継続加入について
23. 乳製品工場の進捗状況について
24. 中標津牛乳パッケージの選考結果について
25. 農産販売事業の進捗状況について
26. 畜産販売事業の進捗状況について
27. 農村地域バター・チーズ需要拡大運動の進捗状況について

夢広がる掲示板

武佐小中学校 郷土版画カレンダー

町立武佐小中学校の児童生徒による版画作品「郷土版画カレンダー」が今年も農協へ届きました。1970年から中学生の生徒の伝統行事として行われてきており、2009年からは小学校の児童が加わっています。武佐の動物、桜並木、牧草地、クテクンの滝、中央武佐神社など

ました。足を鍛えることがイキイキと元気に楽しく過ごす秘訣と感じた2時間でした。



が描かれ、力強い作品に仕上がっています。なかしべつにゆかりある版画の先生に全校生徒が授業時間に習い、技を後世に伝えていく役割を担う。そんな授業を今後、取り組めたらいいですね。

早めの計画、早めの対応の心得

平成23年は、延期になったイベントが再び計画される一年になることと思います。7月7日～11日まで、帯広で「第32回国際機械展IN帯広」。期間中の帯広市内の宿は、満室が多くなっているといえます。

「第13回全日本ホルスタイン共進会北海道大会、全日本ホルスタイングランプリ2011」は10月7日～10日までの開催。安平町早来で行われますが、この大会前にある全道大会や地区大会などの日程についても、関係する方々は押さえておいてください。

共進会や機械展示会以外にもご家族での楽しみ行事などもあることと思います。酪農ヘルパー業務について、多くの方が取得できるように努めますが、人員に限界があります。まず計画して、最善の方法を取れるように考えを巡らせてください。どうしても必要であれば農協が契約している酪農ヘルパー以外の作業者を利用されることも視野に入れて動いてください。酪農ヘルパーの需要は高まっていますが、利用したい日時は、どの農協も重なってしまうものです。早めに計画、早めの対応をお願いいたします。

お知らせ

現任乾参事の本年度末定年に伴い、当面、営農部長 和田勝美を参事心得職に選任することとしましたので、お知らせ申し上げます。

中標津町農業協同組合
代表理事組合長 高橋 勝義

行事予定表

2011年1月 組合動静

1 (土)	元日
7 (火)	業務始め 組合長会新春懇話会 新年交礼会組合長会新春懇話会 新年交礼会
10 (月)	成人の日
16 (日)	小林実新年交礼会
18 (火)	中標津町表彰式
19 (水)	道酪対
28 (金)	第5回営農委員会
29 (土)	仲野ひろ子新春の集い
31 (月)	第7回生産委員会 第4回管理購買委員会

2011年2月

1 (火)	根釧合同監事研修会 女性部 役員会
2 (水)	第9回理事会
3 (木)	畑対役員会 中標津消防本部来組
4 (金)	
5 (土)	冬まつり出店~6日
6 (日)	
7 (月)	共済担当実務者研修会 根室管内AI協会講習会
8 (火)	青年部 JA標津とフットサル大会
9 (水)	畑対定期総会 青年部 理事との懇談会 ある企画会議
10 (木)	和牛生産改良組合定期総会 所得保証制度説明会 (オホーツク)
11 (金)	建国記念の日
12 (土)	
13 (日)	
14 (月)	定例自治監査 (管理部・信用部) 所得保証制度説明会
15 (火)	定例自治監査 (生産部) 人工授精優良技術全国大会 全道ジュニア定期総会 馬鈴薯研修会~16日
16 (水)	定例自治監査 (購買部) 22年度予算統制締切
17 (木)	定例自治監査 (営農部)・講評 ET研修会 女性部 青葉会事業 廃プラ処理認定講習会
18 (金)	後継者対策冬期交流会~20日 生乳検査事業協力管理者研修 コープ札幌・GP来組
19 (土)	
20 (日)	
21 (月)	農機部品推進~25日
22 (火)	女性部 フレミズ事業
23 (水)	熟年会役員会
24 (木)	第5回管理購買委員会
25 (金)	23年度予算計画締切 ある利用者懇談会
26 (土)	新・中古車自動車フェア~27日
27 (日)	
28 (月)	第10回理事会

乳製品を使用した美味しいレシピ

シュークリーム 失敗編

●材料 (12個分)



シュー部分

牛乳	60cc
水	60cc
薄力粉	60g
バター	50g
卵	3個
砂糖	少々
塩	少々

クリーム部分

なかしべつフレッシュクリーム	200ml
牛乳	50ml
グラニュー糖	10g

※混ぜて完成

Recipe

●作り方

- ①卵を3個割りとおいておく、薄力粉は振っておく。
 - ②鍋に強火で牛乳と水バターを火にかけて沸騰させる。
 - ③火を止めて、濡れふきんの上に鍋をあげて薄力粉を一気に混ぜる。
 - ④溶き卵を4、5回に分けて毎回半分づつ入れて練るように混ぜる。
 - ⑤木べらをあげたときにポタッと落ちるようではなくゆっくり落ちていくような感じになるまで続け、卵を使い切らなくても作業をやめる。
 - ⑥絞り袋に入れて、天板の上のクッキングシートにしぼりだす。
 - ⑦霧吹きで水を吹きかけ、焼き始める。
 - ⑧オーブンで最初200度で15分で膨らませる。その後180度で20分焼きと乾燥させる。
- ※オーブンを途中であけると膨らんだものがしぼんでしまうので絶対にあけない。



出来上がり!!



私は3回チャレンジしたのですが3回とも全く膨らまないで失敗に終わりました。釧路にあるシュークリーム専門店の担当者に聞いたところ、生地は本社からのものを店頭で焼いて使っているけれど、けっこう気温とかにも左右されて膨らまないでだめになることもあるのだとか。原因がわからないまま、惨敗となりますが来月は先生に頼んで次回に続きます。今回は同時進行でクリーム部分を作っていたので、失敗した甘くないクッキー状の焦げものに生クリームを付けて無理やり食べる荒業で終了しました。